

2007年 6月15日

会社名 株式会社 大丸

コード番号 8234

 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者  
 奥田 務

 お問合せ先 グループ本社 広報・IR部  
 TEL 06-6281-9002

## 2007年5月度 大丸 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度	3 ~ 5 月 累 計
百貨店業	1.3 < 0.4 >	0.1 < 0.3 >
除くららぼーと横浜店	0.5 < 0.4 >	0.8 < 1.1 >
スーパーマーケット業	3.5 < 2.8 >	4.1 < 3.9 >
卸売業	17.4	13.7
その他事業	6.2	5.0
連結合計	2.9 < 2.3 >	1.8 < 1.6 >
除くららぼーと横浜店	2.4 < 1.8 >	1.2 < 1.0 >

- (注) 1. 本月より、その他営業収入(不動産賃貸料収入)を売上高に含めている。  
 < >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。  
 2. 各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

### 2. 百貨店業 売上高概況

#### 1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度		3 ~ 5 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	3.1 < 1.7 >	2.7	1.9 < 2.4 >	2.6
梅田店	3.0 < 4.0 >	3.4	2.0 < 2.3 >	0.0
東京店	5.2 < 4.2 >	12.9	1.7 < 1.3 >	8.8
ららぼーと横浜店	- < - >	-	- < - >	-
京都店	0.0 < 1.0 >	2.7	0.3 < 0.6 >	0.9
山科店	3.2 < 2.2 >	-	3.3 < 2.9 >	-
神戸店	3.2 < 4.2 >	4.7	1.8 < 2.2 >	3.5
新長田店	0.8 < 1.8 >	-	1.5 < 1.8 >	-
須磨店	1.6 < 0.6 >	-	0.5 < 0.8 >	-
芦屋店	4.1 < 3.1 >	-	1.8 < 1.5 >	-
札幌店	6.2 < 5.1 >	2.4	4.1 < 3.7 >	3.2
直営11店舗計	1.7 < 0.6 >	1.1	0.5 < 0.2 >	1.8
除くららぼーと横浜店	0.8 < 0.3 >	-	0.4 < 0.8 >	-
博多大丸	0.2 < 0.4 >	0.8	2.5 < 2.6 >	0.2
下関大丸	0.7 < 1.2 >	3.4	1.8 < 2.0 >	4.7
高知大丸	0.4 < 0.3 >	0.2	1.3 < 1.3 >	2.8
今治大丸	5.2 < 5.2 >	3.0	3.4 < 3.4 >	3.0
百貨店業合計	1.3 < 0.4 >	-	0.1 < 0.3 >	-
除くららぼーと横浜店	0.5 < 0.4 >	-	0.8 < 1.1 >	-

- (注) 1. 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店合計である。  
 2. ららぼーと横浜店は平成19年3月15日にオープンした。  
 3. < >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。

#### 2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度	3 ~ 5 月 累 計
紳士服・洋品	0.2	0.1
婦人服・洋品	1.8	0.2
子供服・洋品	7.4	5.1
その他の衣料品	5.7	3.1
衣料品計	0.7	0.5
身回り品	9.5	8.5
家具	2.2	3.5
家電	24.0	17.6
その他の家庭用品	3.3	0.1
家庭用品計	4.3	2.2
生鮮	10.3	11.8
菓子	2.4	4.9
惣菜	11.7	13.1
その他食料品	4.1	6.2
食料品計	6.8	8.7
食堂・喫茶	3.7	2.0
化粧品	9.3	5.5
美術・宝飾・貴金属	5.2	0.9
その他雑貨	4.4	4.4
雑貨計	5.5	1.2
サービス	1.8	1.8
その他	120.5 < 25.4 >	42.7 < 11.4 >
合 計	1.7 < 0.6 >	0.5 < 0.2 >

- (注) 2007年3月から「ティファニー」の売上を「身の回り品」から「婦人服・洋品」に移動。

### 3. 概況

#### 1) 百貨店業

- ・5月の百貨店業の売上高は、3月にオープンした食品専門大店「大丸ららぽーと横浜店」の嵩上げや、依然好調を継続する食料品のほか、化粧品、時計など雑貨にも動きが見られたものの、本年は土曜日が対前年 1日減であったこともあり、不動産賃借料収入を除いた直営店は対前年0.6%増、全体では同0.4%となった。
- ・直営店の店別売上高は、心斎橋店、東京店、札幌店など6店が前年を上回った。札幌店は37ヶ月連続で対前年増。
- ・婦人服・洋品は、ワンピースなどが活発に動くとともに、パラソル、サングラスなども好調に推移したものの、主力のジャケットやスカートが不振であった。紳士服・洋品は、催事やユニフォームに動きがあった。身の回り品は、アクセサリなどが好調であったものの、催事のずれ込みの影響もありハンドバッグが苦戦した。食料品は、「大丸ららぽーと横浜店」による嵩上げとともに、既存店でも生鮮三品、惣菜・ベーカリーなど全般に好調に推移した。雑貨は、好調を継続する化粧品のほか、宝飾品や時計に動きがあった。
- ・博多大丸は、福岡天神店が婦人くつ・ハンドバッグの改装効果が持続し対前年0.6%増となったものの、長崎店の不調が響いた。下関大丸は、美術・宝飾品が伸ばしたものの、全体では苦戦した。

#### 2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、3月にオープンした3店「三田伊皿子店」「東池袋店」「芝浦アイランド店」による嵩上げ効果により、不動産賃貸料収入を除いた全店合計は対前年2.8%増となった。  
地区別では、関東地区が上記3店の出店効果もあり対前年5.3%増（既存店同 0.6%減）、関西地区は同 0.3%の微減であった。
- ・卸売業の大丸興業の売上高は、好調を継続する電子部品が牽引した。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343